

薬剤選定 攻略マニュアル ～最新版～



HAIR COLOR
ACADEMY

目次

- 01 基礎知識
- 02 薬剤選定の考え方
- 03 薬剤選定の3つの要素
- 04 薬剤選定の3つの型

全てのヘアカラーは色の三大要素である「明度・彩度・色相」から作られている。

ベースのイメージから仕上がりのイメージにする際「色の三大要素」がそれぞれどれくらいなのか？を考えながら薬剤選定をすることで、目的の色を出しやすくなります。



明度

=

明るさの度合い



彩度

=

鮮やかさの度合い



色相

=

色味の違い

例) 同じグレーベース (色相は同じ) での明度の違い。

ティントの総量が多ければ多いほど明度は暗くなり、逆に少ないほど明度は明るくなります。

→ティント = 色相のこと (赤・黄・青の色味)

暗い



赤・黄・青の総量が **多い**



明るい



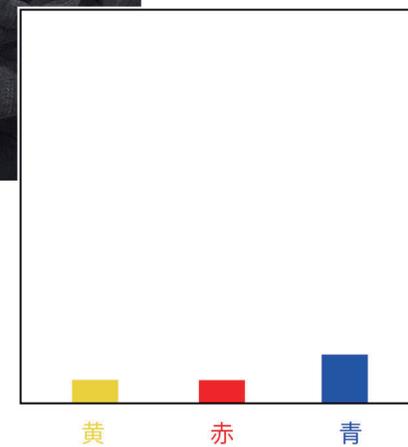
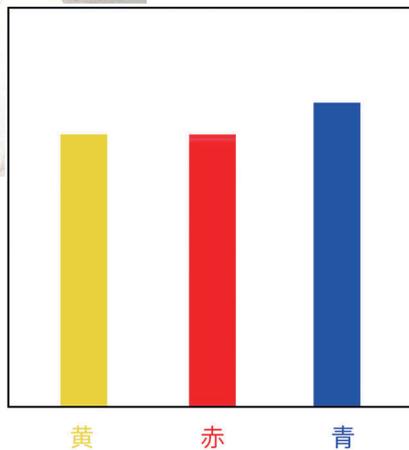
赤・黄・青の総量が **少ない**

明度とは？ … ティントの総量で明度が決まる

髪の毛をコップに例えて考えてみます。

明度が低いのはコップがティントでいっぱいの状態。

明度が高いのはコップが空っぽに近い状態と言えます。



例) 同じ紫系のカラーでの彩度の違い。

グレーに近ければ近いほど彩度は低く、誰からみても何色が分かるカラーは彩度が高いと言えます。三原色のバランスで彩度が変わります。(後ほど解説します)

低い



グレーに近い色味



高い



誰から見ても紫に見える色味

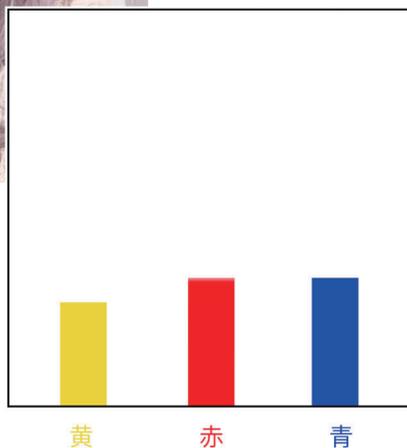
紫系のカラーで考えてみましょう。

髪の中の黄色に対して、赤と青がどのくらいの量入っているかで彩度が決まります。



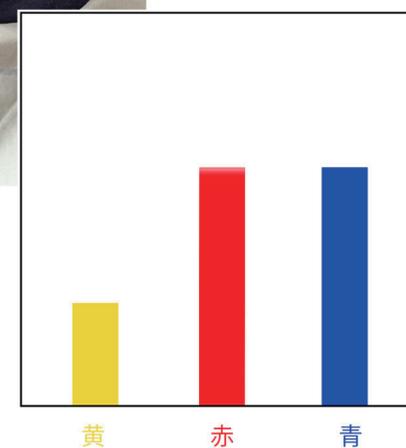
黄色の量よりも少しだけ
赤と青が多い。

⇒ **彩度の低い紫**



赤と紫の割合が
さらに多い。

⇒ **彩度の高い紫**



色相とは？ … この7つをおさえておけば OK !

いろいろな色相がありますが、基本的にこの7つをおさえておけば間違いありません。
「お客様の求めている色相はこの中のどれか？」を探します。



無彩色 (黒・白)

アカ

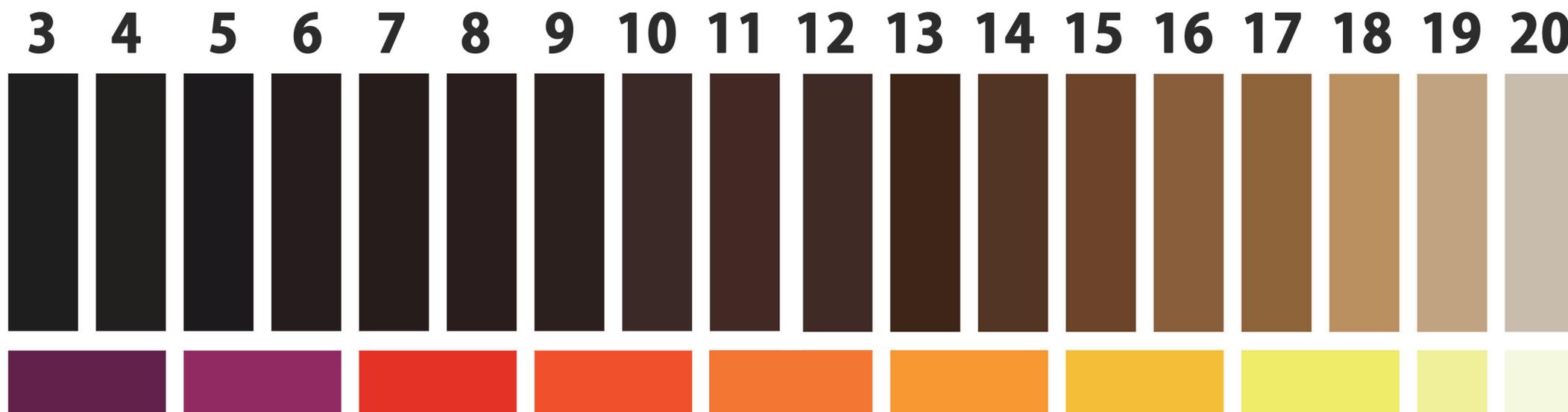
アオ

キイロ

オレンジ

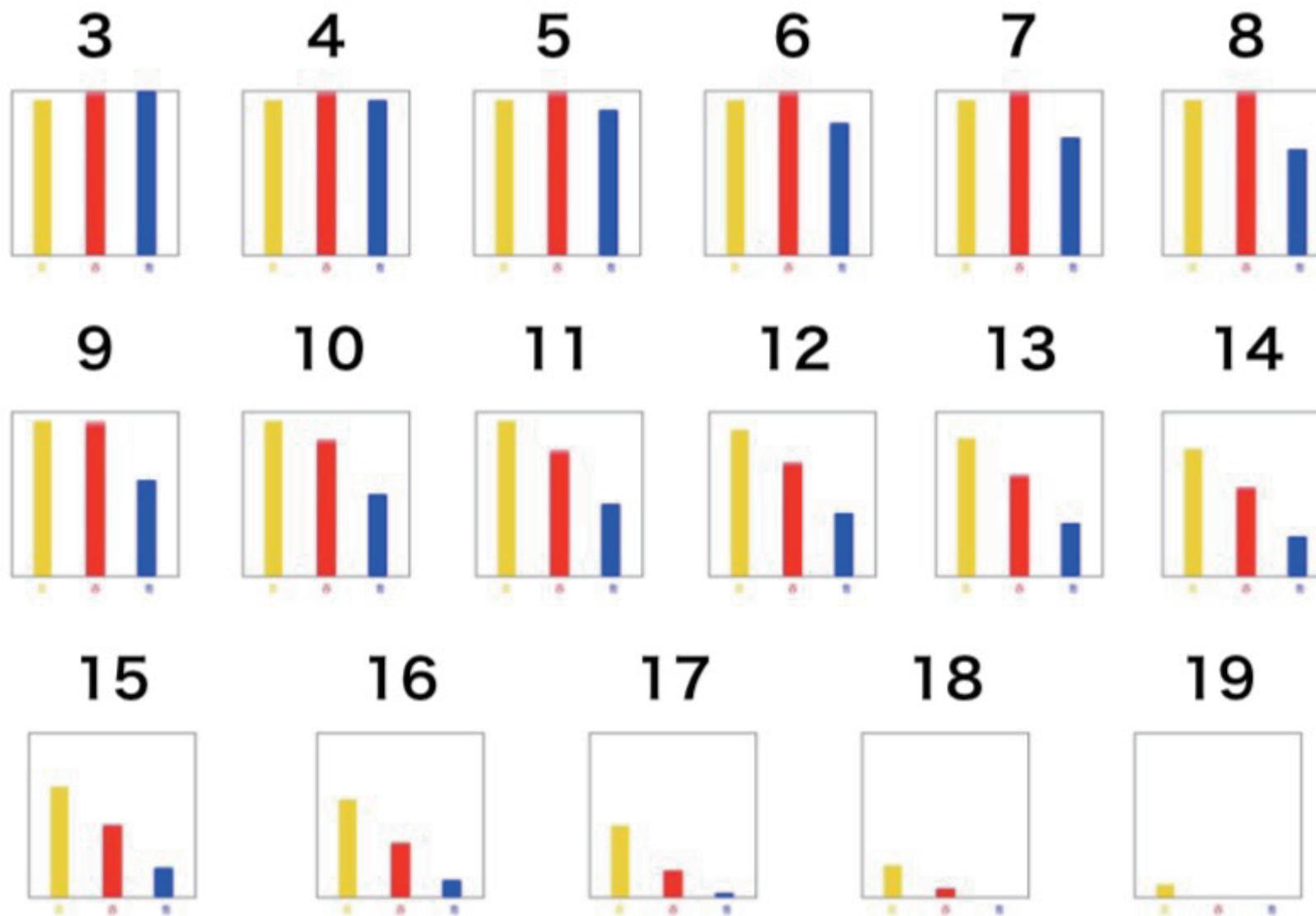
ムラサキ

ミドリ



赤味が強くなる 黄色味が出てくる 黄色味が先行してくる ほぼ黄色になる ホワイト

髪のメラニンに対して何を足せば希望する色味になるのか？
レベルごとのメラニンをしっかりと理解しておくことをお勧めします。





ユウメラニン

色：黒～茶色

アルカリカラーで壊れる



1～5Lv

ユウメラニン



6～16.5Lv

ユウメラニン

フェオメラニン



フェオメラニン

色：赤～黄色

ブリーチで壊れる
(過硫酸塩)



17～19.5Lv

フェオメラニン

アルカリカラーでは
トーンアップしない
領域

1 剤



染料



酸化重合



染色作用

2 剤



アルカリ

過酸化水素水

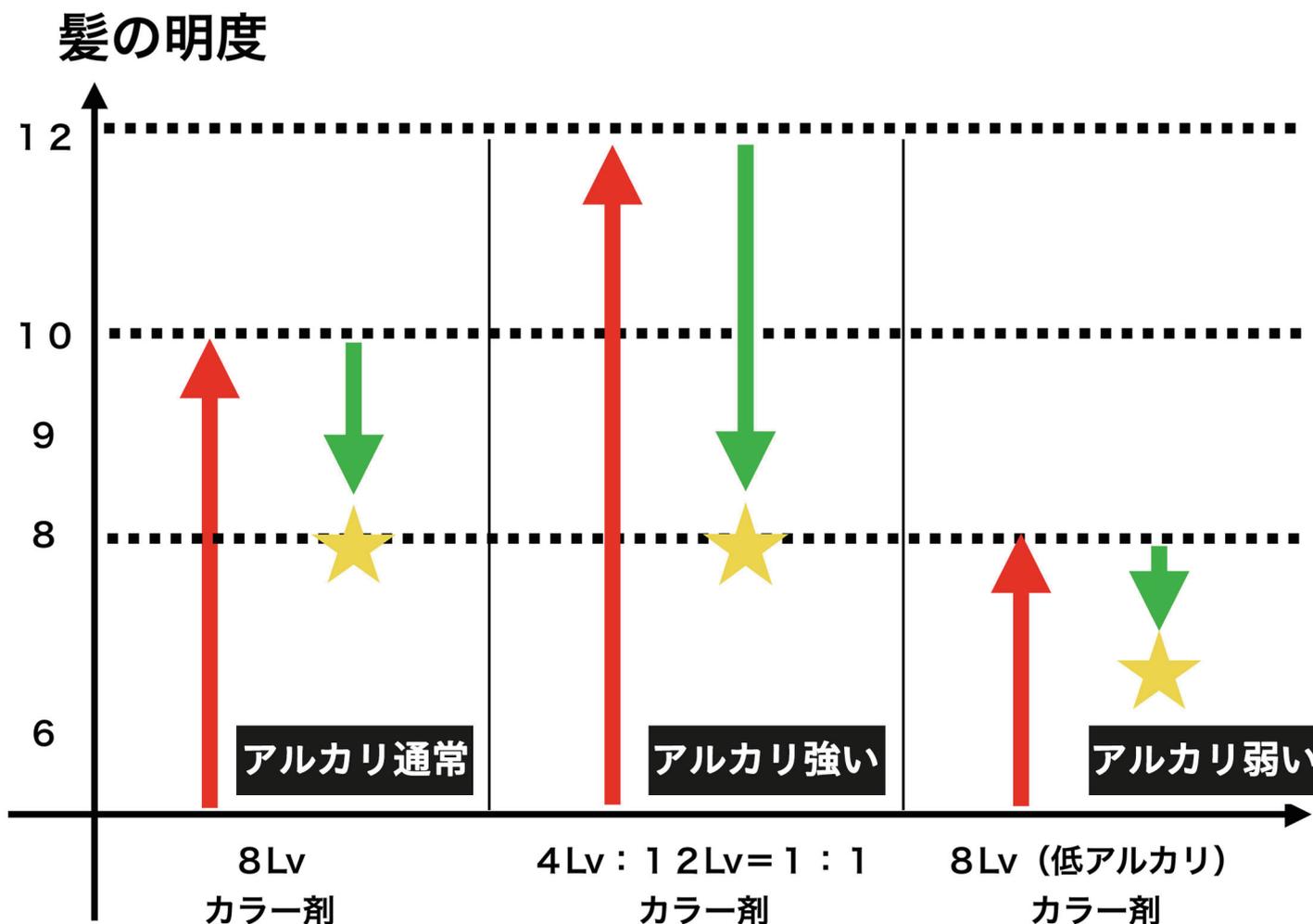


活性酸素



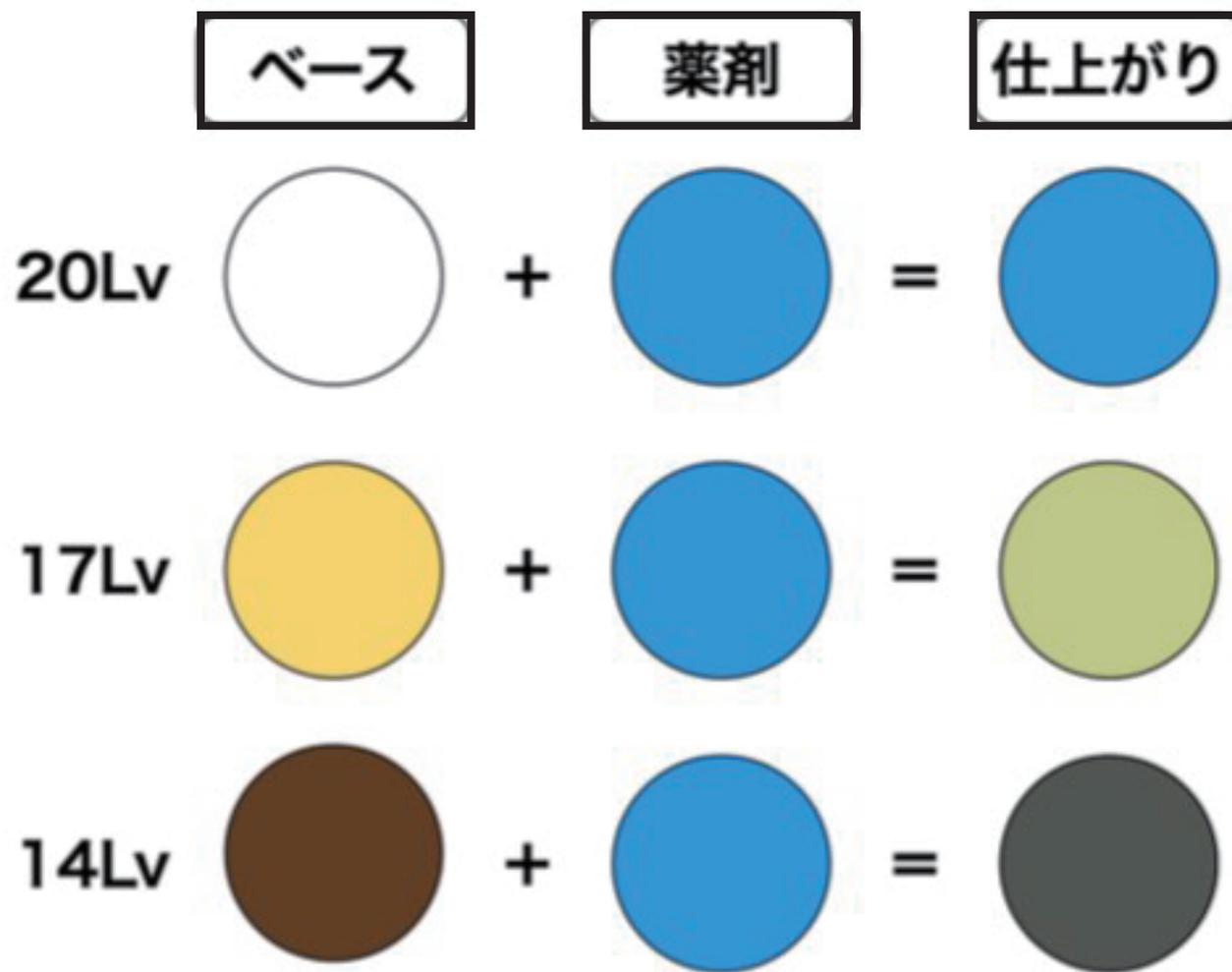
脱色作用





脱色作用 でメラニンが削られ
薬剤 がのるということ

例えば8Lvの薬剤を使うと10Lvまで髪の色度は削られ
その上にティントが乗ることで8Lvに仕上がる



同じ薬を使ってもベースによって色が変わるから





脱色後の色

発色する色



ここがポイント！

カラー剤によっておこる **脱色作用** によって

ベースのメラニンが削られた ところへ **薬剤** がのるという事を理解する



ベースとは

染める前の色

ブラウンだったり

黄色だったり

前回の残留が残っていたり

状態は様々です

	OF-NATURAL PP-1A	OF-BROWN PP-1	OF-PLATINUM BLOND PP-10A	OF-ASHBLOND PP-10	OF-ASH PP-11	OF-LAVENDER PP-12	OF-YELLOW PP-13	OF-ORANGE PP-14	OF-RED PP-15	OF-ROSE PP-16	OF-MAUVE PP-17	MIX
14	OF-14A				OF-14B							OF-14C
13	OF-13A	OF-13B 1:1	OF-13C	OF-13D	OF-13E	OF-13F	OF-13G	OF-13H	OF-13I	OF-13J 1:1	OF-13K 1:1	OF-13L 1:1
12	OF-12A	OF-12B	OF-12C	OF-12D	OF-12E	OF-12F	OF-12G	OF-12H	OF-12I	OF-12J 1:1	OF-12K 1:1	OF-12L 1:1
11	OF-11A	OF-11B	OF-11C	OF-11D	OF-11E	OF-11F	OF-11G	OF-11H	OF-11I	OF-11J 1:1	OF-11K 1:1	OF-11L 1:1
10	OF-10A	OF-10B	OF-10C	OF-10D	OF-10E	OF-10F	OF-10G	OF-10H	OF-10I	OF-10J 1:1	OF-10K 1:1	OF-10L 1:1
9	OF-9A	OF-9B	OF-9C	OF-9D	OF-9E	OF-9F	OF-9G	OF-9H	OF-9I	OF-9J 1:1	OF-9K 1:1	OF-9L 1:1
8	OF-8A	OF-8B	OF-8C	OF-8D	OF-8E	OF-8F	OF-8G	OF-8H	OF-8I	OF-8J 1:1	OF-8K 1:1	OF-8L 1:1
7	OF-7A	OF-7B	OF-7C	OF-7D	OF-7E	OF-7F	OF-7G	OF-7H	OF-7I	OF-7J 1:1	OF-7K 1:1	OF-7L 1:1
6	OF-6A	OF-6B	OF-6C	OF-6D	OF-6E	OF-6F	OF-6G	OF-6H	OF-6I	OF-6J 1:1	OF-6K 1:1	OF-6L 1:1

白い毛束に染めたカラーチャート

写真上段のカラーチャートを
参考にしてティントを把握する

	OF-NATURAL PP-1A	OF-BROWN PP-1	OF-PLATINUM BLOND PP-10A	OF-ASHBLOND PP-10	OF-ASH PP-11	OF-LAVENDER PP-12	OF-YELLOW PP-13	OF-ORANGE PP-14	OF-RED PP-15	OF-ROSE PP-16	OF-MAUVE PP-17	MIX
14	OF-14A				OF-14B							OF-14C
13	OF-13A	OF-13B 1:1	OF-13C	OF-13D	OF-13E	OF-13F	OF-13G	OF-13H	OF-13I	OF-13J 1:1	OF-13K 1:1	OF-13L 1:1
12	OF-12A	OF-12B	OF-12C	OF-12D	OF-12E	OF-12F	OF-12G	OF-12H	OF-12I	OF-12J 1:1	OF-12K 1:1	OF-12L 1:1
11	OF-11A	OF-11B	OF-11C	OF-11D	OF-11E	OF-11F	OF-11G	OF-11H	OF-11I	OF-11J 1:1	OF-11K 1:1	OF-11L 1:1
10	OF-10A	OF-10B	OF-10C	OF-10D	OF-10E	OF-10F	OF-10G	OF-10H	OF-10I	OF-10J 1:1	OF-10K 1:1	OF-10L 1:1
9	OF-9A	OF-9B	OF-9C	OF-9D	OF-9E	OF-9F	OF-9G	OF-9H	OF-9I	OF-9J 1:1	OF-9K 1:1	OF-9L 1:1
8	OF-8A	OF-8B	OF-8C	OF-8D	OF-8E	OF-8F	OF-8G	OF-8H	OF-8I	OF-8J 1:1	OF-8K 1:1	OF-8L 1:1
7	OF-7A	OF-7B	OF-7C	OF-7D	OF-7E	OF-7F	OF-7G	OF-7H	OF-7I	OF-7J 1:1	OF-7K 1:1	OF-7L 1:1
6	OF-6A	OF-6B	OF-6C	OF-6D	OF-6E	OF-6F	OF-6G	OF-6H	OF-6I	OF-6J 1:1	OF-6K 1:1	OF-6L 1:1

茶色の髪に染めたチャートは
あまり参考にしないで良いです

補色

Substitute

目的色

Main

補正

Correction

補色

ベースの色素の反対色

ベースを無彩色に近づけるための色
Ex) 緑・青・紫・赤紫・ピンク

目的色

カラーチャートの色

作りたい色

補正

ベースの色素の差を補う色

ナチュラル・ニュートラル・ブラウン・銅パー

Main
目的色

カラーチャートの色

作りたい色



薬剤選定

根元： **モノトーン** + 青紫 + ニュートラル

毛先： **モノトーン** + 青紫

Substitute
補色

ベースの色素の反対色

ベースを無彩色に近づけるための色



薬剤選定

根元：モノトーン + 青紫 + ニュートラル

毛先：モノトーン + 青紫

Correction
補正

ベースの色素の差を補う色

ナチュラル・ニュートラル・ブラウン・カッパー



薬剤選定

根元：モノトーン + 青紫 + **ニュートラル**

毛先：モノトーン + 青紫

MS 型

S 型

MSC 型

Main … 目的色

Substitute … 補色

Correction … 補正

MS 型

ベース + 目的色 + 補色 = 仕上がり

S 型

ベース + 補色 = 仕上がり

MSC 型

ベース + 目的色 + 補色 + 補正 = 仕上がり

MS 型

基本的な薬剤選定で失敗しにくい

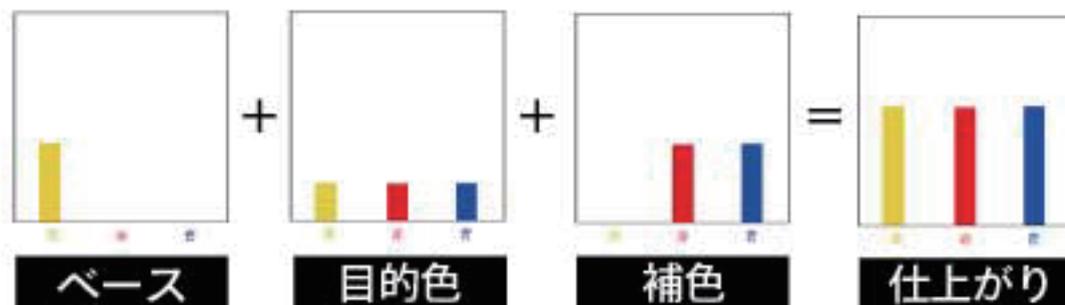
S 型

明度を下げずに彩度を下げることができる

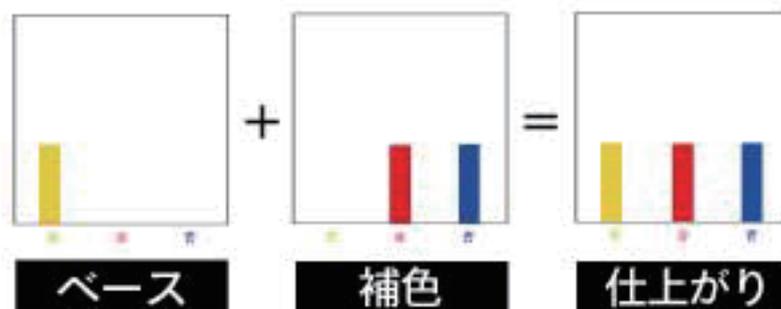
MSC 型

ベースのティントの差を埋めることができる

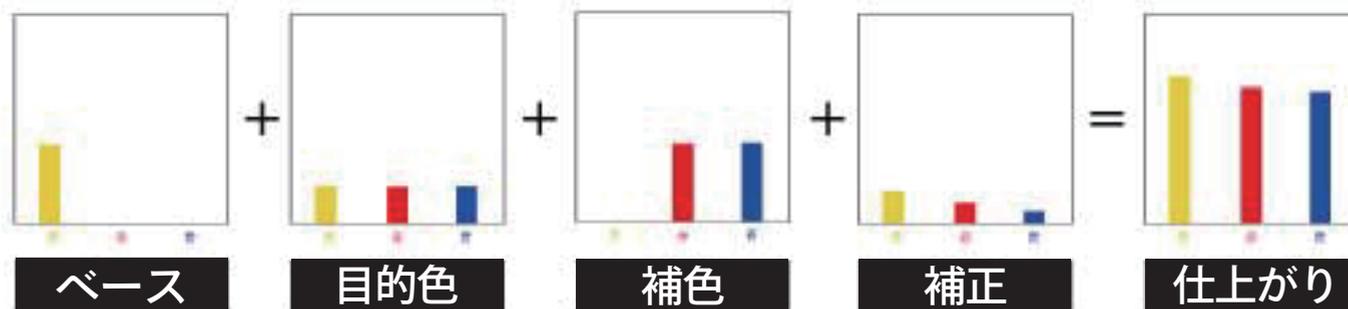
MS 型



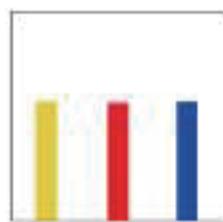
S 型



MSC 型

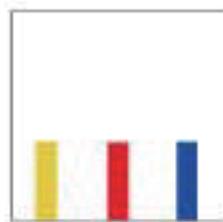


MS 型
ほとんどの場合
この型でOK!



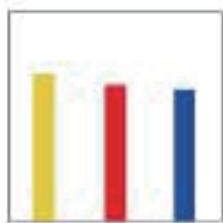
仕上がり

S 型
Ex) ブリーチなしグレー
真っ白のホワイトなど



仕上がり

MSC 型
Ex) 既染部と新生部を
完全に揃えたい
ハイライト馴染ませたい



仕上がり

メリット

ベースのティントに
多少の差があっても
馴染むので、失敗する
リスクが少ない

明度を極力下げずに
彩度を下げられる
(無彩色を作れる)

ベースのティントが
多い部分と少ない部分の
差を埋めて一色に
見せられる

デメリット

彩度を下げたい場合
【S型】よりも
明度がさがる

ベースのティントに
色味が振られやすいので
色ムラのリスクがある

明度が下がり
茶色味が残りやすい

使用薬剤



BEFORE

AFTER

目的色

MONO
TONE

:

BEIGE

補色

BLUE

補正

—



BEFORE

AFTER

使用薬剤

目的色 | —

補色 | CLEAR : PURPLE : PINK

補正 | —

使用薬剤	根元	毛先
------	----	----



BEFORE

AFTER

目的色	BEIGE : MONO TONE	BEIGE : MONO TONE
補色	PURPLE	PURPLE
補正	NEUTRAL	-

まとめ

今回の内容が基本的な薬剤選定の考え方になります

目的色だけで作る M 型・目的色+補正で作る MC 型 も
例外としては起こり得ますので
今回の内容をマスターした方のみ考えてみてください。

基本的に今回ご紹介した

MS 型

S 型

MSC 型

の 3 種類で

どのケースにも対応可能になります

